

資料1 従来方式リスク評価表

* 記入項目の配点についてはシートの下の配点基準を参照して下さい。

管理№	
-----	--

診 断 日	H 年 月 日 () : ~ :
評価者氏名 所 属	

・対象職場	・作業名称	・設備名称
・仕様書№、 仕様書名称		

	課長	主任	担当
所管 部門			
技術 部門			

			危険有害源のリスク評価							現状のリスク評価							改善実施後のリスク評価								
№	作業分類項目名	作業内容	危険有害源	作業の頻度	けがの可能性	けが人の数	けがの程度	リスクポイント	リスクレベル	現状の安全対策	作業の頻度	けがの可能性	けが人の数	けがの程度	リスクポイント	リスクレベル	今後の改善予定内容	作業の頻度	けがの可能性	けが人の数	けがの程度	リスクポイント	リスクレベル	改善時期	完了確認
1																									
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									

配点基準

・作業の頻度		点数
・毎日1回以上	:	4
・毎週1回以上	:	3
・毎月1回以上	:	2
・毎年1回以上	:	1

・けが人の数		点数
・4人以上	:	2
・1～3人	:	1

・けがの可能性		点数
・確実である	1回の作業で1回けが	: 6
・可能性が非常に高い	10回	: 5
・可能性が高い	100回	: 4
・可能性がある	1,000回	: 3
・可能性が少しある	10,000回	: 2
・可能性が殆どない	100,000回	: 1

・けがの程度		点数
・死亡、重度障害		: 10
・休業1000日以下		: 8
・休業100日以下		: 5
・休業10日以下		: 4
・休業1日		: 3
・不休		: 2
・微傷、赤チン		: 1

・重度障害とは脳の重度障害、全身麻痺、両眼失明、四肢の切断とする。	
・晩発性障害(発ガン性、遺伝子障害等)が懸念される場合は、現時点で発症したと考えて該当する点数をつける。	
・慢性障害(腰痛等)は程度に応じて該当する点数をつける。	
・症状の悪化が予想される場合は最終的な症状に該当する点数をつける。	

・リスクレベル判定		判 定
リスク ポイント	リスク レベル	
・12以上	A	重大な問題あり
・11	B	問題あり
・10	C	やや問題あり
・9	D	許容できる
・8以下	E	十分許容できる